

お申し込み前の注意事項

お申し込み前に特にご注意いただきたい事項をご案内いたします。必ずお読みの上、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

<リージョン・ゾーンについて>

- ・ご利用中のサーバのリージョンおよびゾーン変更を行うことはできません。
- ・リージョンやゾーンが異なる場合、ローカル接続ができません。

ただし、別途「ハイブリッド接続サービス」をご契約いただくことにより異なるリージョンおよびゾーン間のローカル接続が可能となります。

<専用グローバルネットワークについて>

- ・専用グローバルネットワークおよびファイアウォールサービス、ロードバランサーサービスは異なるリージョンおよびゾーン間ではご利用いただけません。
- ・複数のゾーンでご利用される場合は、ゾーンごとにご契約いただく必要がございます。

<CPU について>

- ・ご利用中のサーバの CPU 変更を行うことはできません。

<ストレージについて>

- ・標準ストレージのパーティション指定は承っておりません。
- ・追加ストレージは、原則として、同種 2 台の場合は RAID1、標準ストレージを含めて同種 4 台以上の場合は RAID10 での提供となります。ただし、OS の認識外領域が発生する場合には RAID1(システム用)+RAID1 または RAID10 での提供となります。

<PCIe Flash ストレージについて>

- ・PCIe Flash ストレージについては、書き込み寿命を有する NAND フラッシュを含んだ「有寿命製品」となります。ご使用中に書き込み保証値に達し、寿命に至った場合は、保守をお受けすることはできませんので、引き続きご利用いただく場合は、**新規にご契約を行っていただく必要がございます。**

※ 寿命となった PCIe Flash ストレージについてのご契約は解約となります。

※ 寿命後、再度新規にご契約をされた場合、PCIe Flash ストレージについては物理交換となります。

<ローカル回線帯域幅変更について>

- ・ご利用中のローカル回線帯域幅変更はできません。

<冗長化回線/電源について>

- ・全サーバーモデルで上位スイッチは冗長構成となります。エンタープライズシリーズ、高火力シリーズの場合、末端スイッチおよびサーバー電源ユニットも冗長構成となります。
- ・なお、末端スイッチの冗長構成では、回線 1 本あたりのご利用帯域は半分に制限され、2 本の回線の合計帯域が <ご利用帯域目安> になります。

<RAID とバックアップについて>

- ・当社においてお客様データのバックアップは取得していないため、お客様自身にてバックアップの取得を行う必要があります。
- ・バックアップとは、データが格納されている HDD や別の HDD などにデータをコピーすることです。
誤って上書きや削除などしてしまった場合でも、バックアップを取得した時点でデータを戻す事ができます。
- ・RAID とは、耐障害性を高めシステムを停止させない技術であり、データの冗長性（複数の HDD を 1 台の HDD として運用）を実現する仕組みです。
そのため冗長性の範囲を越えた HDD の故障時には、システム停止しデータが消失してしまいます。
誤って上書きや削除などしてしまった場合も、データを戻す事は出来ません。
よって、**RAID を導入している場合においても、バックアップの取得を行う事を強く推奨**いたします。